

DeltaGraph 7 Macintosh ReadMe

概要：

本書では、DeltaGraph 7 に含まれる主な問題点、新機能および強化点について説明します。DeltaGraph 7は、32bitのアプリケーションです。Mac OS X 10.10以降が搭載されIntelプロセッサを使用しているMacintoshでご使用いただけます。DeltaGraph の詳しい製品情報については、<<http://www.redrocksw.com>>（英文）または<<http://www.poladigital.co.jp>>を参照してください。

ReadMe の内容

.....
0. インストール

I. バージョンの更新履歴

II. 既知の問題点と対処方法

III. テクニカルサポートへのお問合せ
.....

3/2/2018

ver.7.1.3

- 最新のExcelを利用してデータをDeltaGraphへコピー/ペーストする際、行と行の間に空欄の行が存在すると、ペーストに不具合が生じる問題を修正しました。

10/23/2017

ver.7.1.2

- テキストエディッタを開くとクラッシュする問題を修正しました。
- プリントダイアログの「現在のグラフビューページのみプリント」オプションが動作していない問題を修正しました。

11/21/2016

ver.7.1.1

- フォントパネル内のいくつかのフォントがグラフの軸や凡例に適用できない問題を修正しました。

9/20/2016

ver.7.1

macOS Sierra対応版 DeltaGraphについて:

macOS Sierraパブリックベータ3でDeltaGraph 7.xを起動するとクラッシュするという問題が見つかっています。8/11付けでApple社に対してこの問題を報告しましたが現時点（9/20）においてApple社からの回答はありません。（パブリックベータ1及び2では問題ありませんでした）

Apple社は9/21にmacOS Sierraをリリースするとのアナウンスをして以降、RedRock社としては独自にこの問題を解決するよう動き始めました。バージョン7.1はmacOS Sierraに対応しています。

新機能:

Javaランタイムがインストールされていなくても、Microsoft Excel™ ファイルをインポートすることができるようになりました。

ver.7.0.8

- グラフをエクスポートする際、DeltaGraphフォントを適用した記号を使用していると、記号サイズが異なってエクスポートされる問題を修正しました。

- プリントダイアログボックスがMac OS X 10.11と互換性を保つデザインに更新されました。

- アクティベーション時にクラッシュする問題を修正しました。

ver.7.0.7

- 記号ダイアログボックスで内蔵の記号を選択し、キーのポップアップメニューから記号を表示しようとしても記号が表示されない問題を修正しました。

DeltaGraph 7.0.6とYosemiteに関して：

DeltaGraph 7.0.6をMac OS X 10.10.0ならびに10.10.1で起動した際、EPS形式でエクスポート出来ない問題は、Mac OS X 10.10.2で解決しました。Yosemiteをお使いのお客様は、最新のMac OS並びにDeltaGraphへアップデートすることをお勧めします。

ver.7.0.6

- ツールボックスの矢印を選択して描いたものを他オブジェクト上に配置すると、画面上のオブジェクトを選択したり移動したりすることが出来なくなる問題を修正しました。
- +で始まる数値 (ex, +1.00E+02) をインポートしようとするするとテキストとして読み込まれてしまう問題を修正しました。

DeltaGraph 7.0.6とYosemiteに関して：

DeltaGraph 7.0.6をMac OS X 10.10.0ならびに10.10.1で起動した際、EPSのエクスポートに問題があります。この問題はDeltaGraphのみならず全ての32ビットアプリケーションに共通した現象です。現在この問題においてはApple社からの修正待ち状態です。この問題がApple社側で修正されるまでは、PostScriptのエクスポートは印刷ダイアログから行う以外は出来ません。

ver.7.0.5

- Mac OS X10.10でグラフをエクスポートする際、DeltaSymbolフォントを適用した記号を使用すると記号がエクスポートされない問題を修正しました。

DeltaGraph 7.0.5とYosemiteに関して：

DeltaGraph 7.0.5をMac OS X 10.10.0で起動した際、EPSのエクスポートに問題があります。この問題はDeltaGraphのみならず全ての32ビットアプリケーションに共通した現象です。現在この問題においてはApple社からの修正待ち状態です。この問題がApple社側で修正されるまでは、PostScriptのエクスポートは印刷ダイアログから行う以外は出来ません。

ver.7.0.4

- Mac OS X10.10で起動しファイルを印刷またはエクスポートしようとするくとク

ラッシュする問題を修正しました。

- 円グラフにて1つのシリーズが全体の半分以上を占める場合、グラフに奥行きを適用すると正しく表示されない問題を修正しました。
- 三角グラフを作成する際、2つの異なるシリーズ並びにデータ行で構成されたデータをプロットしようとするとうまくプロットされない問題を修正しました。
- 一度回転を適用したオブジェクトに再度回転をかけると、2度目の回転角度が正しく計算されない問題を修正しました。

ver.7.0.3

- バージョン7のライブラリに複数のグラフを追加（データとともに保存）しようするとクラッシュする問題を修正しました。

ver.7.0.2

- CMYKカラーを使用したオブジェクトを描画した場合、グリッドの線の選択が出来ない問題を修正しました。
- [テキスト]メニューの[グラフラベルを隠す]を選択した際、隠れたテキストが選択出来ない問題を修正しました。
- フォントウィンドウでグラフ軸ラベルのテキスト書体を変更できない問題を修正しました。
- テキストエリアエディッタをドキュメントの端でクリックすると、エディッタ内のOKやキャンセルボタンが画面外に配置されてしまう為、ボタンの使用が不可となる問題を修正しました。
- 定規のカーソルトラッキングが破損している問題を修正しました。
- バージョン5で作成したファイルのテキスト領域に、複数のスタイルを適用しようとするとうラッシュする問題を修正しました。
- [数式を挿入...]メニューを選択しても、Equation Editorが開かない問題を修正しました。
- 回転を適用したグラフを選択しドラッグしてもグラフを思うように動かせない問題を修正しました。
- 回転を適用したグラフを変更しようとするとう選択領域の枠が壊れてしまう問題を修正しました。
- 等高線（平面図/立体図）グラフを選択した後、再度クリックしてグラフ内の細かなパーツ（例：軸）を選択するとステータスバーのテキスト表示がおかしくなり、画面をスクロールしようとするとう、グラフの描画がおかしくなる問題を修正しました。
- 立体等高線グラフ内に余分な線が存在する問題を修正しました。

- データをインポートしようとした際、.csvファイルが時たま認識されない問題を修正しました。
- ネットワーク上に同じシリアル番号が存在しないかどうかを確認する機能は、同じコンピュータ上のネットワークパケットを常に無視しなければいけないにも関わらず、状況によってはそれがされない問題を修正しました。
- 評価版を使用して保存したファイルは、後で開けなくなる場合がある問題を修正しました。

ver.7.0.1

- 評価版の使用期限が終了した際ライセンス情報の内容が正しく表示されない問題を解決しました。(評価版のみ)
- サイトライセンスをアクティベートする際、部署名ならびにシリアル番号に追加して、ライセンスコードの入力が必須項目として追加されました。(サイトライセンスのみ)

ver.7

新機能：

値の表示の位置で「カーソルの場所」が追加

値の表示で、値ラベルの位置として「カーソルの場所」が追加されました。カーソルがグラフ上のデータ領域を通過すると、フローティングウィンドウが表示され値が表示されます。(平面グラフにのみ適用)

グラフのデータを反転

グラフ上の任意の位置をクリックすると、クリックした要素の値が表示されたデータタブへ飛び、そのデータセルは反転します。または、要素に関連したデータシートの行と列が反転します。

ファイル処理の向上

- ファイルを保存する際、Ver. 6の時に比べてファイルのサイズが20%～500%程小さく保存されるようになりました。
- ファイルを開く際の時間が20%程早くなりました。

下位バージョン保存

ver. 7はver. 6とver. 7両方の形式で保存が可能です。

オブジェクトの回転

グラフや描いたオブジェクト（線と矢印は除く）を任意の角度で回転できるようになりました。（グラフにおいては回転した状態では編集不可）

クロスプラットフォームライブラリ

ver. 7で作成したライブラリファイルはMac/Winクロスプラットフォームでの使用が可能です。また、下位バージョンver. 6形式での保存も可能です。

アクティベーション処理の仕様変更

- インストール後、アクティベーションを行う際外部サーバーへの接続が不必要になりました。個々のインターネット環境に関わらず（インターネット環境にプロキシが設定されている場合／インターネット接続がない場合／インターネット接続が出来ない環境におかれている場合）アクティベートすることが出来ます。
- DeltaGraphメニューのライセンス情報でアクティベーション情報を確認、変更することが出来るようになりました。ライセンス情報はクリップボードにコピー／ペーストすることも出来ます。

PANTONEカラーのサポート終了

ver.7からはPANTONEカラーのサポートが終了しました。

グラフフォントを指定

グラフギャラリーの特殊グラフをプロットする場合、グラフのフォントを指定できるようになりました。フォントは元々テンプレートで設定されているものを使用するか、基本設定でグラフフォントとして指定したものを使用するかを選択できます。（基本グラフは基本設定でグラフのフォントとして指定したフォントのみ適用可）

Javaアプリケーションに対する仕様変更

DeltaGraphを使用するにあたり、Javaのアプリケーションが必ずしもインストールされている必要がなくなりました。但し、Excel形式ファイルをインポートするにはJavaが必要です。Javaがインストールされていない場合は、Excelファイルをテキスト形式に変換してインポートすることが出来ます。

テキストパネル内での取り消し/やり直し操作

テキスト入力パネル内でテキストを入力する際、入力した文字の取り消し/やり直し操作が可能となりました。

Mac OS X 10.9 Mavericks のサポート

アップデートしたネットワークコードはMac OS X 10.9 Mavericks をサポートします。

テクニカルサポートへのお問合せ

テクニカルサポートとして、下記のリソースをご利用いただけます。

DeltaGraph の一般的な使い方については、オンラインフォーラム (<http://support.redrocksw.com/board>) (英文)で相談することをお勧めします。

技術的な問題については、DeltaGraph ナレッジベース (<http://support.redrocksw.com/dgknowledge>) (英文)を参照してください。

日本語でのお問い合わせは、電子メールかお電話で日本国内販売店である日本ポラデジタル株式会社（下記詳細）のテクニカルサポートにお問合せください。電子メールでお問合せいただく場合、ご利用になっている DeltaGraph のバージョン、オペレーティングシステム、および問題の内容をご記入ください。これにより、迅速に対応することができます。

日本ポラデジタル株式会社HP: <http://www.poladigital.co.jp/>
電子メール: jpdusersupport@poladigital.co.jp
電話: 03-6801-2333

日本ポラデジタル株式会社
113-0034
東京都文京区湯島2-16-10 MASSビル
代表 (03) 6801-2331

The DeltaGraph Team
Red Rock Software, Inc.
10 West Broadway, Suite #205
Salt Lake City, UT 84101
(801) 322-4322